

平素より、患者さんのご紹介をいただき、有難うございます。
当院では、予約制で診察を行っております。
患者さんのご紹介に際しましては、紹介状をご用意いただき
お取りいただきますよう、お願い申し上げます。

事前に必ず予約を

医療機関からの予約は 地域連携直通電話・FAX へお願いします。

TEL: 047-458-6543 FAX: 047-458-6545

- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 休
- ・ 時間外の場合は FAX を送信してください。翌受付時間内にお返事いたします。

患者さんからの予約は 電話予約センター にて承ります。

予約センター電話番号: 047-458-6600 (患者さん専用)

- ・ 最初に音声ガイダンスが流れます。紹介状をお持ちの患者さんは 1 を押していただきます。
- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 休
- ・ 予約時間等の変更時にも、必ず電話にてご連絡ください。

■検査連携について

- ・ 検査連携は、医療機関からの依頼のみの受付になります。直接、患者さんからの受付は出来ません。
- ・ 連携検査: CT、MRI(単純)、RI、X-P、マンモ、骨密度、セファロの画像検査のみ

■やちよ夜間小児急病センターについて

- ・ 専用電話番号: 047-458-6090 (医療相談は行っていません)
- ・ 受付時間: 18:00～23:00
※予約は必要ありませんので、直接ご来院ください。

小児科病棟のクリスマス会で「YACHIROCK」とコラボ!



八千代台駅周辺の清掃活動や募金活動を行っているボランティアグループの「YACHIROCK」。
募金活動により集められた募金で、入院中の子どもたちへプレゼントしたいとの申し出をいただき、八千代ボランティアセンターの仲介により実現した昨年の小児科病棟クリスマス会。会のイベント内容の企画段階から参加していただき、小児科医師、看護師、保育士、ソーシャルワーカーらとともに作り上げていきました。12/20の当日は、「YACHIROCK」の皆さんによる「あわてんぼうのサンタクロース」の生演奏にあわせてのバルーンアート製作。その他にも人気アニメのDVDソフトやポータブルプレイヤーなど、こころのこもったプレゼントをしてくださいました。地域のボランティアグループとの初めてのコラボレーションは、大変貴重な体験となりました。医療支援室では、地域医療の連携のみならず、様々な形で地域市民との交流・連携をさらに深められるよう、尽力していきたいと考えております。 地域連携 縄島

〒276-8524
千葉県八千代市大和田新田 477-96
(代表)047-450-6000

医療支援室 TEL 047-458-6543
FAX 047-458-6545

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高性能・先進医療との調和

～基本方針～

本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。患者さんに合った最善のチーム医療を行います。中核病院として、地域の診療所・病院等との連携を推進し、皆さまの健康を維持・増進します。



～時代に対するニーズに向けて～

日ごろ病診連携に対して御理解いただき誠にありがとうございます。
当院は2006年12月の開院からはや6年を経過いたしました。ここまで来ることができましたことは、皆さまのご理解とご協力のたまものと厚く御礼申し上げます。

思えば、開院時ごく少ない医師数で、救急、入院、外来と今までになく忙しい日々で、また皆様にはいろいろご迷惑おかけしたことと思います。現在は少しずつ医師数も増え、まだまだ課題は山積しておりますが病院の診療体制も少しずつ整い、増床計画まで考慮できるまでに至ることができるようになりました。

昨今の医療で、その診断・治療の進歩には目をみはるものがあります。私の専門であります糖尿病内分泌分野においても、治療薬がここ3年で驚くほどの変化があり、また発想の転換とされます尿糖排泄促進薬が近々でてまいります。以前はいかに尿糖を減らして血糖を下げようという治療でしたが、今回は尿糖を多く排泄して血糖を下げようという時代になってきました。思えば私が研修医のころはネフローゼ症候群の患者さんには高たんぱく食でしたが現在では低たんぱく食が推奨されているのと同じようです。

また糖尿病治療の目標は以前の細小血管障害である網膜症、神経障害、腎症の発症、進展予防でしたが現在では心筋梗塞、脳梗塞などの大血管障害はもとより癌の早期発見、認知症、骨粗鬆症などを含めた予防の大切さが叫ばれ、トータルケアが重要とされてきています。千葉県でも糖尿病療養指導士・支援士の制度が発足し昨年11月に当院にて認定試験が行われました。今後ますます医療連携が重要になってきますし、合せてコメディカルの人達と一緒にチームケアが大切になってくると思われます。私たちが時代のニーズにあった診療を敏感に取り入れ皆様とともに医療レベルの向上に向けていきたいと思っております。

平成25年3月

副院長 橋本 尚武



診療科別 診察可能な疾患・症状/ご応需できない疾患

現在、当院では総合内科を開設しておりません。医療機関の先生方には、いずれかの診療科を指定して患者様をご紹介いただければ幸いです。各診療科の取扱い疾患をまとめましたので、ご参照ください。

	扱う疾患・症状 ● 実施する検査・手術等	× ご応需できない疾患 × 行っていない検査・手術等
血液・腫瘍内科 科長：増田 道彦	白血病、リンパ腫、骨髄腫など血液の悪性腫瘍。 再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、血小板減少症、多血症、貧血など ● 外来化学療法(抗がん剤) 治療 ● 自家末梢血幹細胞移植	× 同種造血幹細胞移植
糖尿病・内分泌代謝内科 科長：橋本 尚武	1型、2型糖尿病/内分泌疾患の機能異常、代謝異常疾患。 糖尿病患者の網膜症、腎症、神経障害、脳梗塞・心筋梗塞などの大血管障害発症予防。 糖尿病合併妊娠の診療・指導(母体胎児科と共同診療) 専門外来:甲状腺外来、漢方外来	× 神経性食思不振症 × 甲状腺放射線療法
呼吸器内科 科長：桂 秀樹	肺癌、肺炎などの呼吸器感染症、肺気腫、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患全般。 血痰・喀痰、マイコプラズマ、咳など。 睡眠時無呼吸症候群。 ● 在宅酸素療法などの在宅呼吸ケア ● クオンティフェロン(結核検査) 専門外来:禁煙外来	× 高圧酸素治療
腎臓内科 科長：小池 美菜子	腎炎や腎不全の診断と治療 各種の血液浄化療法(血液透析、血液ろ過透析)や血漿交換、免疫吸着などの特殊治療。 ● 腎生検	
循環器内科 科長：春田 昭二	心臓や血管系の病気の診断、治療 虚血性心疾患、除脈性不整脈、大動脈瘤(胸部、腹部) 明け方の胸の痛み、圧迫感、動悸、心雑音、心筋梗塞 ブルガダ症候群 ● カテーテル治療 ● ペースメーカー埋込み術	× 除細動器埋込み術
消化器内科 科長：西野 隆義	逆流性食道炎、食道静脈瘤などの食道疾患 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎・クローン病などの消化管疾患 肝炎、肝硬変などの肝臓疾患 胆石、膵炎、胆道癌、膵臓癌など胆道・膵臓疾患の内視鏡的治療 ● ERCP、EUS ● 胆管ステント ● 肝炎インターフェロン治療 ● 食道静脈瘤効果療法	× 劇症肝炎 × 胆石の破砕
神経内科 科長：大橋 高志	脳梗塞、頭痛、てんかん、脳炎、髄膜炎、多発性硬化症、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、認知症、パーキンソン病関連疾患、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、片側顔面痙攣、眼瞼痙攣、その他、神経内科疾患全般。 ● CT ● MRI/MRA ● 脳血流シンチ ● MIBG心筋シンチ ● 脳波、電気生理検査 ● 頸動脈エコー	× 脳脊髄液減少症 × ナルコレプシー × 痙攣性斜頸 × 脳過敏症候群 × 神経・筋生検
リウマチ・膠原病内科	現在、新規の患者さんを受け付けられない状況です。 ご理解のほどお願い申し上げます。	

	扱う疾患・症状 ● 実施する検査・手術等	× ご応需できない疾患 × 行っていない検査・手術等
内視鏡科 科長：光永 篤	診断治療のために内視鏡検査が必要とされるあらゆる消化器疾患を対象としています。したがって、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸ならびに膵・胆道系の良・悪性各種疾患が対象となります。また、検査の内容や患者様の状態あるいは希望に応じて経鼻内視鏡検査や静脈麻酔を用いた鎮静下内視鏡検査も行っています。内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれる内視鏡を用いた早期消化管癌の治療も数多く手がけています。 ● 経鼻内視鏡 ● 鎮静下内視鏡 ● NBI拡大内視鏡 ● 超音波内視鏡 ● カプセル内視鏡	
消化器外科 科長：新井田 達雄 科長：大石 英人	食道癌、良性食道腫瘍、逆流性食道炎、食道アカラシア 胃癌、良性胃腫瘍、GIST(胃間葉系腫瘍)、難治性胃潰瘍、異所性膵 十二指腸、小腸癌、十二指腸潰瘍、クローン病 大腸癌、肛門管癌、潰瘍性大腸炎、直腸脱 肝臓癌(原発性、大腸癌などの転移) 肝内胆管癌 門脈圧亢進症 肝のう胞 胆道癌(胆のう癌、胆管癌、十二指腸乳頭部癌) 胆石症(胆嚢結石、胆管結石症、肝内結石症) 胆のうポリープ、先天性胆道拡張症 膵臓癌 膵良性腫瘍 急性・慢性すい炎、膵・胆管合流異常症 急性虫垂炎 痔核や痔瘻 鼠径部～大腿、閉鎖孔、食道裂孔、腹壁瘻ヘルニア症 腹部外科全般における疾患および機能異常 ● 消化管穿孔による腹膜炎などの救急疾患 ● 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG/ペグ) ● 経皮経食道胃管挿入術(PTEG/ピーテグ) ● 狭窄部拡張やステント挿入留置などの内視鏡治療	
女性科 科長：寺本 穂波	乳癌疾患の診断(しこり、乳頭分泌、乳房痛、検診2次検査など)、 乳癌良性腫瘍(乳癌と診断された場合は、乳癌・内分泌外科で治療を行います) 女性の痔、肛門周囲疾患 女性の尿失禁、頻尿(月1回専門外来ですので、必ず予約して下さい) 更年期症状(月2回専門外来ですので、必ず予約して下さい)	× 放射線療法 × 内視鏡下乳癌手術
乳癌・内分泌外科 科長：清水 忠夫	乳癌の診断、治療(手術、化学療法、内分泌療法) 形成外科医と連携した乳房再建術 乳癌良性疾患の治療(手術) 男性の女性化乳房症 ● マンモグラフィ ● 乳癌エコー ● 乳癌 MRI ● 穿刺吸引細胞診 ● 針生検 ● エコー下マンモトーム生検 ● ステレオガイド下マンモトーム生検	
呼吸器外科 科長：関根 康雄	悪性腫瘍(癌など):肺がん、転移性肺がん、胸腺腫瘍、縦隔胚細胞性腫瘍、悪性胸膜中皮腫、気管・気管支腫瘍、肺内悪性リンパ腫など 肺嚢胞(のうほう)性疾患:自然気胸、肺のう胞、縦隔のう胞(胸腺のう胞、気管支のう胞、心臓のう胞、食道のう胞など) 良性腫瘍:良性肺腫瘍(結核腫、過誤腫、血管腫、腺腫など)、神経腫瘍、縦隔奇形腫、胸壁腫瘍など 重症筋無力症(筋肉に力が入らなくなる病気で胸腺と関係しています。そのため胸腺を摘出します) 感染性疾患、その他:肺膿瘍(肺の中の膿)、膿胸(肺の外の膿)、肺動脈静脈(肺の血管の病気)、外傷(肋骨骨折、血胸、肺・気管支損傷など)胸水貯留など ● 気管支鏡検査 ● CTガイド下生検 ● 胸腔鏡検査	× 放射線療法

	扱う疾患・症状 ● 実施する検査・手術等	× ご応需できない疾患 ×行っていない検査・手術等
心臓血管外科 科長：齋藤 博之	・冠動脈バイパス術 ・弁膜症に対する手術 ・大動脈瘤(腹部・胸部含む)に対する人工血管置換術	※下肢静脈瘤は形成外科にて診療いたします。
脳神経外科 科長：川島 明次	・脳血管障害(くも膜下出血、脳梗塞、頸動脈狭窄・閉塞、脳出血、脳動脈奇形、もやもや病など) ・脳腫瘍(下垂体・聴神経腫瘍、髄膜腫、神経膠腫など) ・頭部外傷、機能的疾患(てんかん、顔面けいれん、三叉神経痛など) ・小児脳神経・脊椎脊髄の外科的疾患など、脳神経外科全般 ●神経ナビゲーションシステム神経内視鏡 ●術中血管撮影 ●術中神経モニタリング装置 ●最先端技術を導入した低侵襲の外科治療	× ガンマーナイフ
整形外科 科長：山本 直也	・手足、体幹に痛みや機能障害をもたらす骨関節、脊椎、筋肉、神経などの運動器疾患 ・特に頭部・腰部痛と四肢神経障害を生ずる頸髄症、歩行困難となる脊柱管狭窄症などの脊椎疾患 ・膝・股関節に代表される変形性膝関節症など ・骨粗鬆症、各種の骨代謝疾患、リウマチ、外傷などによる骨関節疾患 ●内視鏡手術 ●矯正固定手術 ●圧迫骨折に対する椎体形成術 ●膝や股関節疾患の関節鏡手術 ●靭帯再建手術 ●人工関節手術	
形成外科 科長：竹内 正樹	・口唇口蓋裂 ・耳の変形 ・手足の異常、外傷 ・顔面外傷(顔面骨折を含む) ・顔面の変形や先天異常 ・熱傷、ケロイド、癬痕拘縮 ・下肢静脈瘤、皮膚難治性潰瘍 ・皮膚皮下腫瘍・血管腫、母斑、あざ、シミ ・腋臭症、陥入爪、巻爪 ・眼瞼下垂症、眼瞼内反症 ●CO2レーザー ●V beamレーザー ●光治療器 ●フラクセル ●マイクロサージャリーによる組織移植術	
眼科・小児眼科 科長：船津 英陽	・白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、小児疾患、角結膜疾患など、眼疾患全般 ・ぶどう膜炎 ●日帰り手術(白内障や眼瞼疾患) ●レーザー治療	× PDT療法
耳鼻咽喉科 西嶋 文美(火・午前) 武藤 博之(水・午前) 山本 昌彦(木・午前)	・めまい(山本) ・嚥下障害(武藤) ・顔面麻痺	常勤医不在のため、手術・入院となる疾患はお受けしていません。
泌尿器科 科長：鬼塚 史朗	・尿路臓器(腎・尿管・膀胱・尿道)、尿管結石、腎盂炎、水腎症、腎血管細胞腫、尿潜血、血尿、過活動膀胱、尿失禁、女性の尿漏れ ・生殖臓器(前立腺・精巣)の疾患 ・前立腺肥大症、前立腺がん ・梅毒、後腹膜腫瘍 ・内シャント作成 ●体外衝撃波結石破砕術装置(ESWL) ●結石破砕・前立腺肥大症手術用レーザー装置 ●泌尿器科的内視鏡手術器具	

	扱う疾患・症状 ● 実施する検査・手術等	× ご応需できない疾患 ×行っていない検査・手術等
皮膚科 科長：三石 剛	・湿疹 ・皮膚炎(アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎など) ・蕁麻疹・痒疹 ・多型滲出性紅斑をはじめとした紅斑症 ・紫斑病・血管炎 ・中毒疹・薬疹(重症薬疹を含む) ・水疱症(尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡) ・膿疱症 ・乾癬をはじめとした炎症性角化症 ・母斑・皮膚良性腫瘍(脂漏性角化症、粉瘤、石灰化上皮腫など) ・皮膚悪性腫瘍(基底細胞がん、日光角化症、Bowen病など) ・毛髪・爪甲疾患 ・尋常性ざそう ・ウイルス性疾患(単純ヘルペス、帯状疱疹、ウイルス性疣贅)、細菌性疾患・真菌症(足・爪白癬、カンジダ症) ・性感染症(尖圭コンジローマなど) ●炭酸ガスレーザー ●皮膚腫瘍の治療 ●金属アレルギー検査 ●パッチテスト 専門外来：いぼ外来	× 紫外線療法
小児科 科長：寺井 勝	・すべての小児疾患の初期対応 専門外来：アレルギー外来 ・糖尿病・内分泌外来 ・心臓・川崎病・不整脈外来 ・腎臓外来 ・発達・神経外来(発達小児科) ・基礎疾患のある乳幼児の予防接種 ・学校検診の2次検診(心臓、腎臓) ・乳幼児健診の2次検診	
発達小児科 科長：林 北見	・てんかんなどのけいれん性疾患 ・先天異常や周産期障害、生後に発症した疾患などに起因する運動障害、知的障害 ・注意欠陥多動障害などの発達障害	× 摂食障害
小児外科 科長：幸地 克憲	新生児から中学生まで幅広く対応しています。低侵襲手術を目指し、腹腔鏡・胸腔鏡手術を積極的に取り入れています。 ・日常的な疾患：鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニア、包茎、耳前瘻など。 ・急性期疾患：急性虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、肝・胆道系疾患(胆道閉鎖、胆道拡張症など)、外傷、火傷など ・異物誤飲(気道、消化管) ・慢性疾患：腹痛、便秘、下痢、血便など：便秘症、胃食道逆流症、過敏性大腸症候群、潰瘍性大腸炎、クローン病など ・腎・泌尿器疾患：水腎症、膀胱尿管逆流症、尿管瘤、尿道弁などの外科疾患 ・夜尿、尿が近いなどの日常の排尿機能 ・新生児外科疾患：新生児科と連携して対応 ・気道系疾患：気管切開、気管喉頭分離を要する疾患 ・先天奇形：漏斗胸、肛門の位置異常(鎖肛) ・腫瘍：お腹や胸の中のできるしこり ・人工心肺を要する外科疾患 ●施行検査 消化管造影、血管造影・塞栓術、尿路系造影、内視鏡：上部、下部消化管内視鏡、気管支鏡、膀胱鏡、消化管機能検査：24時間pHモニター、消化管内圧測定、ウロダイナミックスなど、小児外科疾患に必要な検査はほぼ全て準備しています。	

	扱う疾患・症状 ● 実施する検査・手術等	× 応用できない疾患 × 行っていない検査・手術等
新生児科 科長：近藤 乾	・出生した(時には出生前からの)赤ちゃんを対象とし、出生後の急性期の管理のみではなく、その後の発育・発達も含めて診させていただきます診療科です。	
母体胎児科 科長：坂井 昌人	・分娩 ・ハイリスク妊娠、分娩管理(前置、多胎、合併症妊娠) ● 胎児超音波診断 ● 救急母体搬送受け入れ(母体胎児集中治療室6床) ● 正常分娩用の LDR4 床のほか、ハイリスク LDR/分娩手術室 ● 無痛分娩(計画分娩)	× TOLAC (既往子宮手術後経陰分娩) × 骨盤位経陰分娩 (一部を除く) × 胎児鏡下レーザー血管手術 × 精神疾患合併妊娠
婦人科 科長：正岡 直樹	・子宮・付属器(卵管、卵巣)の悪性、良性疾患、内分泌疾患 ・体外受精を除く不妊・不育症治療など ● 化学療法 ● 内視鏡下手術(腹腔鏡、子宮鏡) (卵巣嚢腫、子宮外妊娠など)	× 放射線療法
歯科口腔外科 科長：桑澤 隆輔	・高血圧、糖尿病などの合併症のある患者さんの抜歯や親知らずの抜歯 ・外傷(歯の破折や脱臼、顎骨骨折、口唇や口腔内軟組織損傷) ・炎症 ・嚢胞 ・腫瘍 ・顎関節症 ・口腔粘膜疾患	
画像診断・IVR科 科長：遠田 謙	・下肢動脈狭窄(PAD)、腎動脈狭窄、鎖骨下動脈狭窄、透析バスキュラーアクセス狭窄の血管内治療(拡張術) ・子宮筋腫の動脈塞栓療法(自由診療) ・胸腹部、四肢動脈瘤の血管内治療(コイル塞栓術) ・肝悪性腫瘍に対する動注療法や動脈塞栓術 ・喀血、消化管出血、外傷による出血に対するカテーテル止血術 ・胆管、気管、大動脈、ステント治療 ・CT ガイド下生検(胸腹部) ・門脈大循環短絡閉塞術(BRTO) ● CT (64 列、16 列) ● MRI (3 テスラ、1.5 テスラ) ● 核医学検査 ● 骨密度検査 ● マンモグラフィ (マンモトームあり)	× 放射線治療 × PET
麻酔科 科長：佐藤 二郎	・手術のための全身麻酔および局所麻酔 ・集中治療室での重症患者さんの全身管理 ・総合周産期センターでのハイリスク妊産婦さんの全身管理 ・無痛分娩(母体胎児科と連携して行う) ・ペインクリニック(要予約) ・緩和医療	
心身医療科 医師：川本 恭子	現在、非常勤医師が週1回のみ外来対応しております。 新規の患者さんを受け付けられない状況です。 ご理解のほど お願い申し上げます。	
その他 ご応用できないもの		× DNA 鑑定 × 性同一性障害 × Lowe 症候群(男性の更年期) × 成人の ADHD(注意欠乏症、アスペルガー症候群) → 15 歳以下であれば、発達小児科 Dr.林が診察します。

救急搬送の場合

救急搬送時にご担当の医師から、代表 047-450-6000 に「救急車搬送希望」とおっしゃってお電話ください。その際、循環器内科、整形外科など 診療科を指定していただくと 診療科医師につながります。診療科を指定できない場合は救急科医師が対応いたします。

がん地域連携パスをはじめます。

高齢者の増加が著しい昨今の状況において地域連携は喫緊の課題になっており、八千代地区におきましては脳卒中のパスが運用され成果を上げております。がんが死因の第1位となり、制定されたがん基本対策法では地域連携が重要な施策の1つに位置づけられています。そこで八千代地区においてもがん連携パス推進の会を設立して地域連携を図ってまいりたいと考えています。手始めに Stage I の患者に対し作成された千葉県共用パスを用いて行うことにしました。これは術後化学療法などが必要ないがん患者を病院とかかりつけ医の共同で約5年間の経過を観察するパスです。八千代医療センターはがん診療連携協力病院であり胃がん・大腸がん・肺がんについて計画策定病院となり、さらに乳がんも追加する予定です。パスの具体的な運用については説明会を開催し、さらに登録させていただく際には患者へはもちろん、かかりつけ医の皆様にも十分な説明と同意をいただくこととなります。「八千代医療センターがん地域連携パスの会」にご参加いただいた先生方、連携室の方々には厚く御礼申し上げます。また、今回ご参加いただけなかった医療機関の皆様もご賛同の程よろしくお願い申し上げます。

かかりつけ医キャンペーンを展開中しております。

八千代医療センターは
かかりつけ医と協力して
患者さんの健康を支える
「地域医療支援病院」です。

八千代医療センターは、地域のかかりつけ医の先生方と協力しながら、高度な検査や手術・入院が必要な治療を行う、地域の皆さんの健康を守る病院として、「地域医療支援病院」として承認されています。



かかりつけ医は
● かぜなどの日常的な医療
● 経過観察などの継続的な医療
で患者さんの健康管理を行います。

詳しい検査・専門的な治療が必要となったときに「紹介状」を書いていただき、八千代医療センターの受診予約をとって 来院ください。

八千代医療センターは
● 手術、入院を要する治療
● 高度で専門的な治療
を担当する 急性期病院です。

症状が落ち着いた患者さんはかかりつけ医を再び受診し、八千代医療センターの医師が専門的な医療に専念できるようご協力をお願いいたします。

「地域医療支援病院」の連携登録医として登録いただいている、かかりつけ医の先生の情報は、外来棟1階 正門入り口に備わっております。※病院のホームページにも掲載しておりますので、ご確認ください。 東京女子医科大学八千代医療センター